

SHINCHI 新地 8

2026
No.662

広報



新地町消防団

積み重ねた訓練を力に

―第46回福島県消防操法相馬地方大会―

(関連記事…5ページ)

第30回

新地町少年の主張大会

主催 新地町青少年健全育成町民会議
共催 新地町・新地町教育委員会

「社会を明るくする運動」新地町推進委員会

7月7日、町文化交流センターで新地町青少年健全育成町民会議主催の「第30回少年の主張大会」が開催されました。

町内小中学校の児童生徒9名が登壇し、家庭や学校生活の中で感じていることや、日頃の想いを堂々と発表しました。審査の結果、各部門の入賞者は次のとおり決定しました。

【小学生の部】

最優秀賞 荒 心春さん

「タンタコタン」がつなぐもの

優秀賞 森 心那さん

「クマとわたしの生きる道」

【中学生の部】

最優秀賞 武田 詩音さん

「私の武器」

優秀賞 大塚 紗槻さん

「感謝の気持ちで挑みます」

次ページより各部の最優秀賞作品を掲載します。

第30回 新地町少年の主張大会



「新地町の宝を未来へ」



加藤 柊真さん
福田小 6年

「タンタコタン」がつなぐもの



荒 心春さん
福田小 5年

「自分たちで新地町をどのように変えられるか」



齋藤 翔真さん
駒ヶ嶺小 6年

「食卓がピンチ」



熊倉 晴海さん
駒ヶ嶺小 5年

「私の武器」



武田 詩音さん
尚英中 3年

「感謝の気持ちで挑みます」



大塚 紗槻さん
尚英中 2年

「自然豊かなこの町で」



渡邊 麻識さん
尚英中 1年

「クマとわたしの生きる道」



森 心那さん
新地小 6年

「わたしだからできること」



加藤 芽生さん
新地小 5年

中学生の部

最優秀賞

尚英中学校3年 武田 詩音^{しおん}さん

私の武器



皆さんには、自分の武器とよべるものがありますか。私は以前、この質問に答えることができませんでした。なぜなら、私はいつも自分を誰かと比べていたからです。学校には、勉強ができる人がいます。運動が得意な人もいます。友達が多い人、人前で堂々と話せる人もいます。私はそんな人たちを見るたびに、「いいな、それに比べて私は・・・」と思っていました。勉強で思うような結果が出ない時、自分より点数の高い人がうらやましくな

りました。見た目に自信がもてない時は、周りの人が輝いて見えました。人間関係で悩んだ時には、自分だけがうまくいっていないような気持ちになりました。気がつくと、私は自分になりものばかりを数えていました。しかし、その考え方は、私を苦しめるだけでした。誰かの良いところを見るたびに、自分の欠点ばかりが目に入るからです。

私は、卓球をしています。中学生の頃からはじめて卓球は、私に力を与えてくれる、なくてはならないものです。卓球を続けてきた中で、忘れられない試合があります。中学校3年生になつて初めての試合です。試合の前から対戦相手のプレーの癖を研究し、それに対応するための練習を何度も行いました。友達からは「詩音なら勝てる」と言われ、自分でも「今までの練習の成果を出せば勝てる」とそう信じていました。

くさん練習した分、悔しくて涙が止まりませんでした。「あの時もつと攻めていたら」「あの一本をとれていたなら」そんなことばかり考えていました。そして、周りの選手と自分を比べました。なぜあの人は、勝てるのだろう。なぜ私は勝てないのだろう。メンタルが弱いからか。集中力が足りないからか。何が悪いのだろう。その時の私は、自分の足りないところしか見ていませんでした。

でも、友達や先生から「詩音が頑張っているところ、みんな見ているよ」「頑張ったね」そんな言葉をもらい、気づきました。私も、そこにたどりつくまでに努力をしていたということに。毎日の練習。高い技術への挑戦。うまくいかなくても諦めませんでした。それらは、決して無意味ではありませんでした。なぜなら、技術も向上し、自信をもってプレーすることができるようになったからです。試合には負けてしまいましたが、

も、努力まで負けたわけではありません。その時から、私は少しずつ考え方が変わりました。誰かと比べるのではなく、昨日の自分と比べてみようと思ったのです。私たちは、それぞれ個人差があります。だから、相手の良いところを認めつつ、自分の悪いところを自分の中で比べて、改善しようと思えました。昨日より少し成長できたか。昨日より少し努力できたか。その方がずっと大切なのではないかと思えました。その考え方をするように、なつてから私は、毎日何度も同じ練習をして、「できた」と嬉しくなることや、「昨日はできなかったのに今日は成長した」と思い、笑うことが増えました。そして、自分に自信をもつことができるようになりました。

自分にはないものばかりを見ていた私。もつと勉強ができた。もつと自信があつたら。もつと違う自分だったら。でも私には、私の良さがありません。誰かになれなくてもいいのです。誰かの「武器」を手に入れようとするより、自分の「武器」を磨くほうが大切です。卓球で学んだ努力する力。悔しくても前を向く力。失敗しても挑戦を続ける力。それが私の「武器」なのだと思います。もちろんこれからも誰かと比べてしまうことはあると思いますが、もちろん落ち込む日も、自信をなくす日もあるでしょう。しかし、そのたびに思い出したいことがあります。自分にはないものを数えるのではなく、自分にあるものを大切にすることです。支えてくれる家族がいること。一緒に笑える友達がいること。努力できる環境があること。夢に向かって進めること。それらは決して当たり前ではありません。

(次ページへ続く)

毎日通っている学校。毎日会う友達。毎日聞くチャイムの音。毎日見る景色。だつて、来年私が中学校を卒業し、高校生になり、新しい学校、新しい友達との出会いの中で、変わってしまします。だから私は、今ある毎日を大切にしたいと思ひます。そして、自分の「武器」を信じて歩いていきたいと思ひます。誰かになるためではありません。自分らしく生きるためです。比べる相手は誰かではありません。昨日の自分です。私はこれからも、自分の「武器」を磨きながら、一度しかない今という時間を大切に生きていきたいと思ひます。

さあ次はあなたの番です。人とは違うあなたの「武器」を見つけていきませんか？

「タンタコタンコターンコタンコ。」

このリズムを聞くとむねが高鳴る。気づけば口ずさんでしまう。これは、ただのたいこの音ではなく、人々の思いが重なった特別なひびきだからだ。

わたしの住む福田には、百六十年以上続く、県指定重要無形民俗文化財「相馬福田の十二神楽」という伝統芸能がある。地域の子どもたちが神社に集まり、た

いこやおどりの練習をし、五月と十一月の祭りではまいをほうのうする。

わたしが神楽を始めたのは、六年生のすがたにあげられたからだ。美しい着物、力強いことまい。すべてがかがやいて見え、「わたしもやりたい。」と思ひた。しかし、練習は想像以上に大変だった。祭りが近づくに練習回数が増え、午後七時から二時間、ほとんど休けいなしで続く。わたしが担当する小だいは「タン」と「タコ」でリズムを覚え、さらに、仲間と息を合わせなければならぬ。

「笛の音をよく聞いて。」

「入るのが早い。」

「みんなの気持ちがそろっていない。」

何度も注意され、そのたびにやり直しになる。あせがゆかに落ちる。

「こんなにがんばっているのに。少しくらいずれていてもいいじゃないか。」と、投げ出したくなった。

そんな時、神主の目黒さんがわたしをよんだ。「こっちにおいで。」

と、連れて行かれた先には、一まいの写真がかざってあった。そこには、お面をつけて、けんをかかげる少年のすがたがあった。それは、今のわたしと同じくらしいの年れいの父だった。つま先までぴんとのびたそのすがたは、とても力強く、しんけんさと気はくが伝わってきた。目黒さんは言った。

「始めから上手な子はいない。みんなの努力があったから百六十年も続いてきたんだ。」

さらに、神楽が一度とだえてしまったことも教えてくれた。子どもの数がへり、受けつぐ人がいなくなったのだ。しかし、地域の人たちは「なくてはいけない」と立ち上がり、復活させた。その話を聞き、わたしは「はつ」とした。神楽は、ただかっこいいものではない。神楽には、先人たちの

願いや決してあきらめない努力がまつていたのだ。

祭りの当日。大勢の人の前で小だいを打った。「タンタコタンコ」そのとき、一人の女の子がリズムに合わせて楽しそうに体を動かしているのが目に入った。そのしゅんかん、かつての自分を思い出した。わたしも先ばいの神楽にあこがれて始めたのだ、と。

伝統を受けつぐとは、形を守ることはない。思いを受け取り、次の人へつなぐことだ。特別な人がいるから続くものではない。地域を大切に思う一人ひとりが支えていくものだ。わたしは学んだ。百六十年続いてきた福田十二神楽。その歴史のバトンは、今、わたしたちにわたされていく。だからわたしは打ち続けた。 「タンタコタンコ」のリズムとともに。この伝統を未来へつないでいきたい。

小学生の部 最優秀賞

福田小学校5年 荒心^{こはる}春さん



タンタコタンコがつなぐもの

新地町消防団が躍動！ 訓練の成果を披露



練習の成果を堂々と披露

選手たちは、仕事の合間を縫って夜間や休日に集まり、訓練を重ねてきました。

大会当日は雨の中での競技となりましたが、各チームが真剣に挑み、熱戦を繰り広げました。

町チームは、最終の競技順で登場し、迅速なホース延長や的確な放水動作を披露し、指揮者の力強い指揮のもと、落ち着いて競技に臨みました。惜しくも優勝は逃したものの、訓練の成果を十分に発揮し、結束の強さを感じさせる堂々とした操法を見せました。

競技後には、仲間や関係者から「よくやった」というねぎらいの声がかけられました。

7月26日、相馬市の「日立木カントリーエレベーター」で、「第46回福島県消防操法相馬地方大会」が2年ぶりに開催されました。

この大会は、ポンプ操法を通じて基礎的な技術を習得することともに、団員の士気向上や組織力の強化を目的として行われました。

新地町、相馬市、南相馬市、飯館村の各消防団から1チームが出場し、新地町消防団からは、第2分団の選拔選手が町を代表してポンプ車操法の競技に臨みました。



大会を終え、笑顔を見せる町代表メンバー

訓練を通して深まった結束

競技後、指揮者の渡邊勇吏さんは、「違う班同士の編成で、普段顔を合わせる機会が少ないメンバーでしたが、練習を重ねる中で打ち解け、自然とまとまりが生まれました。自分の練習だけでなく、周りを見て声を掛けることを意識しました」と振り返りました。

また、「未経験者を中心としたメンバーでしたが、ここまで来られたのは指導員や協力してくれた団員のおかげです」と話し、支えてくれた指導員や団員への感謝を述べた。

口にしていました。

岡崎仁一団長は、「選手たちは、仕事忙しい中でも訓練に励み、大会でその力をしっかりと発揮してくれました。サポートしてくれた団員や関係者の皆さんにも心から感謝します」と、選手や団員をねぎらいました。

大会に向けて重ねた訓練や、そこで培われた技術と連携は、火災をはじめとする災害時の迅速で的確な対応にもつながるものであり、今後の地域防災活動に生かされていきます。

町代表メンバー（第2分団選抜）

役割	氏名	班名
指揮者	渡邊 勇吏	富倉班
1 番員	目黒 隆史	新地町班
2 番員	高橋 利於	小川班
3 番員	門馬 聡	新地町班
4 番員	藤原 翔太	岡班
補充員	芳賀 純平	岡班

（敬称略）

「読書活動ボランティア会」による読み聞かせ

絵本と昔語りで育む、豊かな心



福田小学校での読み聞かせ

6月17日、福田小学校で「読書活動ボランティア会」による読み聞かせが行われました。子どもたちは本の話に真剣に聞き入り、ときおり笑い声が上がるなど、終始温かな雰囲気包まれていました。

読書活動ボランティア会では、今年度も町内各小学校において、絵本や紙芝居、昔話を語り継ぐ「昔語り」などを通して、子どもたちに本を読む楽しさを伝え、豊かな心を育む活動に取り組んでいます。18名の会員が、さまざまなお話を選りながら、年間を通して読み聞かせ活動を行っています。

また、一緒に活動してくださる会員を随時募集しています。興味のある方は、新地公民館までお気軽にお問い合わせください。

◎問い合わせ 新地公民館（☎62-2085）

保育所「消防署との合同避難訓練」

日頃の訓練で防災意識を高める

6月25日、新地保育所で「消防署との合同避難訓練」が行われました。

子どもたちは、保育士の指示をよく聞きながら、火災を想定した避難訓練に落ち着いて取り組みました。

訓練後には、相馬消防署新地分署の署員から避難時の大切なポイントについて話があり、「先生の話をしっかり聞き、慌てずに行動すること」の大切さを学びました。

また、保育士による消火器を使用した初期消火訓練も行われ、火災発生時の対応を確認しました。

町内の各保育所では、年間を通して避難訓練を実施し、子どもたちや職員の防災意識の向上に努めています。



保育所「栄養教室」

食べ物の役割や栄養の大切さについて楽しく学ぶ



7月9日に新地保育所、10日には福田保育所と駒ヶ嶺保育所で栄養教室が開催され、子どもたちが食べ物の役割や栄養について学びました。

教室では、保健センターの栄養士が講師を務め、食べ物を「赤・黄・緑」の3つのグループに分け、それぞれの働きについてクイズを交えながら楽しく説明しました。

また、お皿の上の食材からどんな料理が作れるかを考える遊びでは、友達と話し合いながら夢中で取り組んでいました。

食べ物が体を作り、体を元気にする働きがあることを学んだ子どもたち。これからの給食をさらに楽しむ良いきっかけとなりました。

第76回「社会を明るくする運動」

犯罪のない明るい地域社会を目指して

7月1日、役場前で「社会を明るくする運動」広報啓発活動の出発式が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の立ち直りについて理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的としています。

当日は、社会を明るくする運動推進委員の皆さんが、朝の通勤・通学や夕方の帰宅時間帯に合わせて、町内での街頭啓発や広報車による巡回を行い、犯罪や非行の防止を呼びかけました。

また、9日には、保護司や更生保護女性会が町内の小中学校、保育所、児童館を訪問し、啓発活動を行いました。



出発式



新地保育所訪問



街頭広報活動

人権の花贈呈式

小学生が大切に育てた「人権の花」を贈呈



なごみの里福田



駒ヶ嶺保育所

7月8日、「なごみの里福田」と「駒ヶ嶺保育所」において、「人権の花」の贈呈式が行われました。

この取り組みは、花を育てることを通じて命の大切さを学び、地域の方々への贈呈を通して思いやりの心を育むことを目的としています。

贈呈されたプランターは、6月に駒ヶ嶺小学校の5年生24名の児童たちと人権擁護委員と一緒に花の苗を植え、学校で大切に育ててきたものです。児童たちは、「きれいな花が咲いたときの笑顔や、心に生まれたやさしい気持ちを皆さんに届けたい」と、みんなで協力して大切にお世話をしました。

贈呈式では、児童代表のあいさつの後、子どもたちが心を込めて育てた花を一つ一つ手渡しで届けました。施設の代表者からは感謝の言葉が述べられ、子どもたちと利用者の皆さんが笑顔でふれあう、温かな交流の時間となりました。

石油資源開発株式会社（JAPEX）・福島ガス発電株式会社による出前授業

エネルギーの役割を学ぶ



7月6日、福田小学校で、石油資源開発株式会社（JAPEX）と福島ガス発電株式会社によるエネルギー学習が開催されました。

この授業は、エネルギー資源の特性への理解を深めるとともに、スマートコミュニティの取り組みについて学ぶことを目的に、町内の小・中学校で開催されています。

参加した児童たちは、DVDの視聴や講師の説明を通して、海外から運ばれる液化天然ガス（LNG）が相馬 LNG 基地で受け入れられ、発電や地域の暮らしを支えるエネルギーとして活用されていることを学びました。また、液体窒素を使った実験や発電の仕組みを学ぶ実演も行われ、児童たちは楽しみながら町が進めているスマートコミュニティ事業への理解を深めました。

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式

夏の交通事故防止へ啓発活動を実施

7月15日、農村環境改善センターで夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式が開催され、警察や交通安全関係団体など約70人が参加しました。

式では、交通対策協議会会長の大堀町長が、「暑い時期を迎える中、関係団体が連携し、交通安全意識の啓発に取り組んでほしい」とあいさつし、子どもの外出機会や交通量が増える夏休み期間中の交通事故防止に向け、交通安全意識の高揚と交通ルールの遵守を呼びかけました。

式終了後には、白バイやパトカーがパトロールに出発したほか、菅谷製作所株式会社と株式会社アルプス物流相馬営業所を訪問し、交通安全啓発品を配布するなど、関係機関が連携して交通安全啓発活動を実施しました。



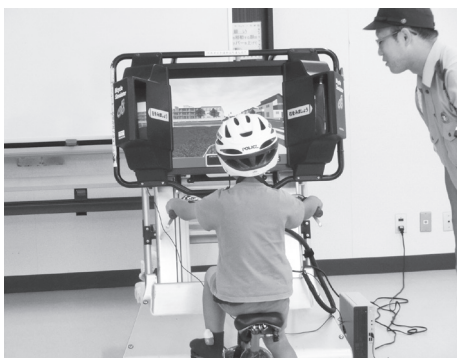
菅谷製作所株式会社での啓発活動

詳細情報
はこちらから



小学生交通安全教室

交通ルールの大切さを学びました



7月24日、勤労青少年ホームで「小学生交通安全教室」が開催されました。相馬警察署交通課の署員を講師に迎え、福田児童クラブを利用する小学生 21 人が参加しました。

教室では、自転車シミュレーターを使った体験学習が行われ、児童たちは自転車に乗る際の安全な操作や注意点を学びました。

体験終了後には、参加した児童に交通安全啓発品が配布され、交通ルールを守ることの重要性が改めて呼びかけられました。

子どもたちは、交通ルールを守ることの大切さを学び、「自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用する」「発進するときは後方確認を行う」といったルールをしっかり守ることを約束しました。

職員出前講座を開催

駒北笑和クラブ（富倉老人クラブ）

「町の財政状況と今年度の主要事業について」を学ぶ



6月22日、駒北笑和クラブの皆さんが、町職員による出前講座で「町の財政状況と今年度の主要事業について」を学びました。

講座では、町の予算（収入と支出）、財政指標、令和8年度の主要事業について説明が行われました。

参加者からは、「人口減少に伴う町施設の維持管理はどうなるのか」「スーパーの誘致の進捗状況」など、さまざまな観点から質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

尚英中学校3年生 さまざまな視点で福祉を体験

尚英中学校3年生が、6月18日、7月2日、7月9日の3回にわたり、福祉について学ぶ体験活動を行いました。

6月18日は「高齢福祉」をテーマに、老いることや福祉、介護について学びました。

7月2日の「介護教室」では、高齢者の疑似体験や車いす体験、ボッチャ競技を通じて、年齢を重ねることで感じる見えづらさや動きにくさを体感するとともに、軽い動きでもスポーツを楽しめることを学びました。

7月9日は「保育所ってどんなところ？」をテーマに、保育所の概要や保育士の心構えについて説明を受け、寸劇を交えながら学びました。また、保育所で子どもたちが日頃体操で親しんでいる「ラーメン体操」など2曲を体験し、保育の現場への理解を深めました。

生徒たちは町や地域包括支援センター、社会福祉協議会の職員を講師に、子どもから高齢者まで全ての人々が安心して暮らせる福祉の仕組みについて学びを深めました。

生徒からは「実際に経験することが大切だと思った」などの感想が寄せられました。



車いすの操作方法を学び
利用者への理解を深める



保育所で親しまれている体操を体験



軽い動きでも楽しめるボッチャを体験

しんちパンプトラックフェスティバル2026

過去最大のエントリー！

猛暑を吹き飛ばす華麗なジャンプと熱い2日間



華麗なジャンプを披露



パンプトラックで爽快感を楽しむ

7月11日、12日の無料開放デーに続き、7月18日と19日の2日間、「しんちパンプトラック」で、今回で6回目の「しんちパンプトラックフェスティバル 2026」が開催されました。

今年は町内外から過去最大のエントリーがあり、多くの観客が訪れるなど大盛況となりました。

開催当日は、当初の天気予報が嘘のような猛暑の中となりましたが、会場の熱気はそれ以上。

1日目の「MTB HOPPER JAM」では、MCの軽快な進行で会場が盛り上がる中、参加者たちが高く華麗なジャンプを次々と披露し、会場から大きな歓声が送られました。

2日目には年齢別のタイムアタックが行われ、最速のライダーやスケーターを目指して白熱したレースが繰り広げられました。

BMXやMTB、スケートボードなどジャンルを問わず、子どもから大人までが本気で遊び、挑み、夏を全力で楽しんだ熱い2日間となりました。

保育所「子ども夏祭り」

笑顔あふれる「子ども夏祭り」

7月16日と17日の2日間にわたり新地保育所で、16日には駒ヶ嶺保育所、28日には福田保育所で、「子ども夏祭り」が開催されました。

年長クラスの子どもたちは浴衣やはっぴを着て、縁日コーナーの売り子として大活躍。小さいクラスのお友達に景品を渡してあげるなど、優しく面倒を見る姿が見られました。

縁日ごっこや盆踊りなど、子どもたちのとびきりの笑顔があふれる、楽しい夏の行事となりました。



駒ヶ嶺保育所



福田保育所



新地保育所

新地アーバンデザインセンター(UDC しんち) 活動報告 (2026 年 8 月号)

新地町のみなさま、こんにちは。UDC しんちでは、地域の皆さんと一緒につくる多彩な活動が行われています。活動への参加やお問い合わせは、二次元コード (Instagram) からお気軽にご連絡ください！

【UDC しんち】

町内の中学生3名と高校生1名が参加する、UDC しんち主催の「夏の学校」が8月3日から5日まで、東京大学柏キャンパスで開催されます。

3 回目を迎える「夏の学校」ですが、今年から千葉県柏市の高校生も一緒に参加することになりました。新地町と柏市の子どもたちが交流することで、どのような相乗効果が生まれるのか、今からとても楽しみにしています。



【地域食堂あんしんち】

9月6日(日)、勤労青少年ホームにて地域食堂を開催します。「地域食堂 あんしんち」は、子どもから大人まで、どなたでも気軽に参加できる居場所です。美味しいご飯を作って、みなさんのお越しをお待ちしています。(詳細は Instagram をご確認ください。)



【コモンズしんち】

毎週金曜日と、不定期で火曜日に開所しています。観海ホールの休館日に開所していますので、居場所としてぜひご利用ください。夏休み中は、2 学期が気持ちよくスタートできるよう、学習サポートも行っています。

また、保護者の方の相談(無料)も受け付けています。学校生活や勉強のことなど、子育ての悩みごとや困りごとをひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください。子育て経験者や元教員が対応します。



【ちんと しんち】

8月22日(土)の観海フェス参加にむけて、UDC しんち所属の団体メンバーや、高校生・大学生のボランティアが集まり企画会議を開催しました。

当日は、UDC しんちを知っていただくためのプログラムを準備してお待ちしております。ぜひお楽しみに！



【ガオリンピック】

7月18日、ガオリンピックは岩沼市へ飛び出して活動しました！

子どもたちと遊んだり、地元の方と交流したりと大活躍でした。これからも新地町をどんどん PR していきます！



むし歯^{ゼロ}の子どもたち

7月13日の3歳児健診では、
むし歯ゼロの子どもは3名でした。



新妻 ^{はると}陽翔さん
(中里)



工藤 ^{ちあき}千歳さん
(新地町)



星 ^{つくも}月詠さん
(岡)



第38回ふくしま駅伝新地町チーム 選手募集!

町では、11月15日(日)に開催される『第38回ふくしま駅伝大会』
に出場する町チームの選手を募集しています。

ふくしま駅伝新地町スローガン

『がんばれ新地! 目指せ町の部入賞!!』



町ホームページ

普段からランニングを楽しんでいる方はもちろん、「一度大会に出てみたい」「自分の力を試してみたい」という方も大歓迎です。

町の代表として、仲間と共にタスキを繋いでみませんか。
興味のある方は8月28日(金)までに新地公民館までお問い合わせください。



©申し込み・問い合わせ 新地公民館(☎62-2085)

生活道路とは？

主に地域住民の日常生活に利用される、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことです。



ドライバーの皆様へ

最高速度は、交通の安全と円滑を図るためにあり、これを守るとは、ドライバー、同乗者、歩行者、自転車の方々を守ることにつながります。決められた速度の範囲内であっても、道路状況や天候等に応じて、安全な速度で運転するよう心掛けてください。

こんな道は特に気を付けよう！

民家・商店が多い

通学路である

天候等で視界が悪い

カーブが多い

警察庁HP

▼生活道路における法定速度の引下げについて
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/seikatsudouro/seikatsudouro.html>



問い合わせ先

全国都道府県警察HP

▼各都道府県警察本部リンクはこちらです
<https://www.npa.go.jp/link/prefectural.html>



生活道路における自動車の法定速度が引き下げられます！！

令和8年9月1日
 (2026年)
 改正道路交通法施行令施行

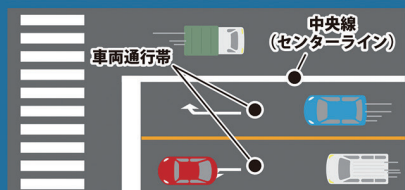
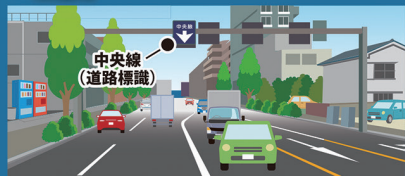
60 km/h
 ↓
 30 km/h

警察庁・都道府県警察

▼ 以下の道路における自動車の法定速度は ▼ 引き続き60km/hです

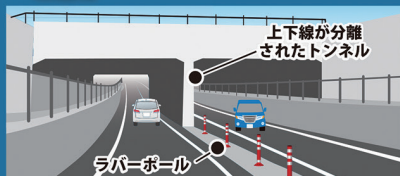
1

道路標識又は道路標示による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路



2

道路の構造上又は柵その他の工作物により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路



3

高速自動車国道のうち、本線車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線以外のもの（例として、料金所や一般道路と高速道路をつなぐ、いわゆる「ランプ」が該当します）

4

自動車専用道路

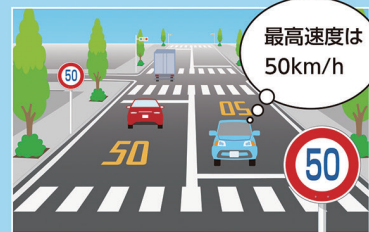


従前どおり、道路標識等による指定がある場合は、その速度に従ってください

道路標識又は道路標示により最高速度が指定されている道路では、その速度が最高速度となります。例えば、道路標識により最高速度が40km/hと指定されている中央線がない道路では、最高速度は30km/hではなく40km/hとなります。



▲中央線がない道路で40km/hの速度標識があった場合は、最高速度は40km/hとなる。



▲中央分離帯や中央線があっても速度標識が50km/hの場合、最高速度は50km/hとなる。

医療法人伸裕会 渡辺病院

地域に寄り添い、切れ目のない医療で暮らしを支える
人間味あふれる温かな病院

渡辺病院は、地域に根差した病院として、内科・外科・消化器内科・整形外科・歯科など幅広い診療を行い、切れ目なく医療を受けることができる体制づくりに取り組んでいます。患者さまだけでなく、看護を担うご家族のニーズにも応えられる病院を目指し、安心して利用できる地域医療の提供に努めています。

特に地域包括ケア病棟では、医師、看護師、リハビリスタッフなど多職種が連携し、患者さまの生活環境やご家族の状況を考慮しながら、退院後の生活を見据えた支援を行っています。病気を治すだけでなく、ご本人やご家族の心に寄り添い、安心して生活できるよう関係機関と連携しながら取り組んでいます。

看護部では、患者さまを第一に考え、さまざまなケースに適切かつ迅速に対応できるよう、他職種との連携を図りながらチームで取り組んでいます。笑顔を決やさず、一人ひとりに親身に寄り添う看護を実践しています。

地域の皆さまが安心して暮らせるよう寄り添い、健康について気軽に相談できる身近な病院でありたいと考えています。

病院概要

所在地 新地町駒ヶ嶺字原92

代表者 理事長 渡辺 泰章

開設 大正15年3月（平成26年3月に当町へ移転）

従業員数 210名（医師、看護師、リハビリスタッフなどを含む）

事業内容 内科・外科・消化器内科・整形外科・歯科などを中心とした総合医療サービスの提供



呼吸に合わせて気持ちよく体を伸ばします

活動内容

人数	13名
活動日時	第2・4木曜日 10時～11時30分
場所	駒ヶ嶺公民館
講師	五十嵐 紘子先生

心と体を整えるリフレッシュヨガ教室。ゆったりとした呼吸や動きを大切にしながら、心と体をリラックスさせ、首や肩、背中、腰まわりを中心に全身をほぐしていきます。

活動の終わりにはクールダウンを行い、「体が軽くなった」「すっきりした」と感じる方も多く、日頃の疲れの解消や気分転換にもつながっています。

初心者や体が硬い方でも参加しやすく、自分のペースで無理なく続けられるのも魅力です。講師の丁寧な指導のもと、和やかな雰囲気の中で活動しています。

皆さんも健康づくりやリフレッシュのために参加してみませんか。

医療スタッフ募集中!!



渡辺病院
ホームページ



渡辺病院
Instagram

看護師インタビュー



看護部 看護師
みなと 湊さん（入職5年目）

業務内容は？

主に内科で入院された患者さまの看護を担当しています。状態観察や処置を行うだけでなく、一人ひとりの生活背景や不安に寄り添い、何気ない会話も大切にしながら、その人らしさを大切に看護を心がけています。

仕事のやりがいは？

入院時には不安を抱えていた方が、回復して笑顔で退院される姿を見るとやりがいを感じます。元気を取り戻し、日常生活へ戻るお手伝いができることが看護の魅力です。

職場の雰囲気や魅力は？

先輩や医師にも相談しやすい、温かな職場です。勤務形態もライフスタイルの変化に合わせて相談でき、教育体制も整っているため、安心して長く働ける環境です。

新地町の

サークル活動紹介
今回、紹介する団体さんは…

リフレッシュヨガクラブ

です!!

vol. 3

図書館へ行こう

Let's go to Library



＝新着本・CD・DVDのご案内＝

◎一般書

『七、八月のストローク』

長嶋 有
(講談社)



大規模マンションの老朽化した子供用プールで、監視員のアルバイトをする高校生の少女2人。ささやかな悩みを抱えた老若男女が過ごすプールに廃止の危機が迫り、少女2人が立ち上がる。

『刑事の境界線』

宮島 明道

『失恋カルタ』

又吉 直樹

『「人と違う」ままでも大丈夫』

『脳科学・心理学・行動経済学から導いた すごい継続力』

『旅する図鑑全国水族館ガイド 100』

『ドローンを仕事にする 未経験から「空のプロ」へ。30組の実践』

『藤井恵の夏ごはん 暑くても作る気になる、食べなくなる。』

◎CD

『KAWAII LAB.BEST ALBUM』

TEAM KAWAII LAB.

『シナぷしゅ 5周年! 全員集合ぷしゅ〜!』

《お知らせ》

『世のため人のためアニメシリーズ』DVDをご寄贈いただきました



公益財団法人藤井財団より、『世のため人のためアニメシリーズ』DVD12作品をご寄贈いただきました。

渋谷栄一や本田宗一郎など、様々な分野で活躍した偉人について、アニメを通じてわかりやすく学ぶことができます。ぜひご利用ください。

◎児童書

『トマトパスタがはねるなぞをとけ』

かんちく たかこ (講談社)



トマトパスタは大好きだけれど、思いっきり食べるとソースが服にはねちゃう。どうしたら、はねないかな? オリジナリティあふれる疑問、実験、観察が表現された「科学の芽」賞受賞作品を絵本化。

『きみは、てき?』

内田 麟太郎

『にぎっちゃだめ!』

チョー ヒカル

『解けるとこわい謎解きゲーム 顔の見えないトモダチ』

吉岡 みつる

『楽しくあそんで理系力が育つ! 魔法のおいしいおうち実験教室』

『うまくなる水泳』

◎DVD

『ゴジラ -1.0』

『世のため人のためアニメシリーズ 安藤百福』

《展示コーナー》



『夏休みおすすめ本の展示』

8月23日(日)まで



『季節のおすすめ絵本
〜おばけ・夏まつり・おやつ・未来へつなぐ〜』

8月30日(日)まで



『本で楽しむ恐竜の世界
〜福島で発見された恐竜化石がある!?〜』

9月20日(日)まで

図書館カレンダー (8月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■は休館日

ホームページ
はこちらから



図書館
ホームページ

図書の内容紹介は TRCMARC より引用しています。
表紙画像は当館所蔵本の表紙画像を使用しています。

◎問い合わせ 図書館 (☎62-5031)

保育所から こんにちは 新地保育所

ワクワクするね☆

縁日スタート！

今年の夏もみんなが楽しみにしている「子ども夏まつり」が行われました。保育所はお祭りモード一色になりました！

「おめんやさん」「キラキラおもちゃやさん」「はなびやさん」など、遊戯室に並んだたくさんの景品に子どもたちは目を輝かせていました。

年長組さんは、浴衣や甚平を着て縁日コーナーの売り子として大活躍！「いらっしやいませ」「かわいいおもちゃありますよ」と元気な掛け声で、お祭りの雰囲気盛り上げてくれました。

夏の思い出

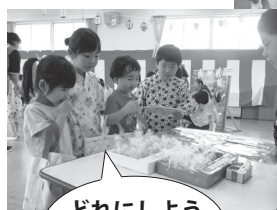
みんなでワイワイ夏祭り

また、小さいクラスのお友達と一緒に手をつないで、縁日を回りながら、「どれにする？」「なにがいい？」など、優しく面倒をみられる姿も見られました。

異年齢同士の交流を通して、年長組への憧れや、相手を思いやる気持ちが育まれ、子どもたちにとって良い経験となりました。

お面を被って記念写真を撮ったり、たくさんの景品を手にしたリして、子どもたちは笑顔いっぱい。

みんなでワイワイ夏の楽しい思い出ができました。



輪になって踊ろう！
伝統をつなぐ盆踊り♪

夏まつりの最後は、盆踊りを踊りました。「相馬盆唄」に合わせて、地域の伝統文化に触れながら、楽しく踊ることができました。地域に昔から伝わる盆踊り、これからも伝え続けていきたいですね。

子どものつぶやき

花壇のひまわりに水やりをしていると、

T君（5歳児）

「ひまわりが背伸びして大きくなってる！」

R君（5歳児）

「じゃあ、もっと水をあげたら花咲くんじゃない？」
たくさん水をあげた後、しばらく花壇の前で眺めていました。

ひまわりの開花を楽しみにしている子どもたちです。



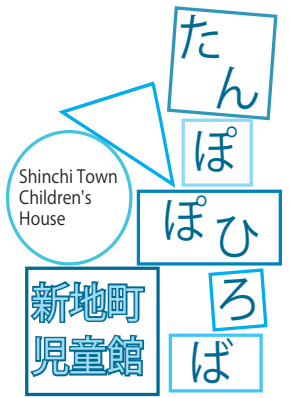
8月の行事予定

●英語であそぼう

24日(月) 福田保育所

●育児サロン

随時受け付けています



7月のたんぽぽひろばでは、今年で3回目となる「親子リトミック」を行いました。講師は、南相馬市在住の山崎美登里先生です。「リトミックって何をするのだろうか」と感じていた保護者も、「今回はどんな楽しいことがあるのかな？」と期待を持って参加していました。

「こんにちは」のあいさつをピアノに合わせて歌った後、簡単な体操でからだをほぐしました。先生の「梅雨にちなんだリトミックですよ」という声で、ピンクや青などのスカーフが登場。小さく丸めて「パツ」と開くと、色とりどりのあじさいの花のようになりました。



鳴ったらピタッと止まるリズム遊びや、大きな布に子どもが座り、保護者が引く張る遊びや、ペットボトルのふたで作った「かえる」のカスタネットを曲に合わせて鳴らす遊びも楽しみました。

最後は先生のフルート演奏。「ホール・ニュー・ワールド」の優しい音色に癒されました。

音楽をからだ全体で感じ取り、「聴く力」や「表現力」などの基礎能力を養う「親子リトミック」は来年度も

楽しいねー五感を刺激し 音楽に合わせて体を動かす 親子リトミック

開催予定ですので、ぜひたんぽぽひろばへおいでください。



たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
8月26日(水)	楽しもう！親子3B体操	児童館
9月9日(水)	みんなで楽しい親子ヨガ	児童館

※年間行事予定は「子育て支援サイト」をご確認ください。

子育て支援
サイト
ホームページ



新地町児童館ご利用案内

開館時間 10時～18時

休館日 日曜日・祝日・年末年始

午前 なかよしひろば（毎週月曜日～土曜日）
たんぽぽひろば（月2回）

午後 児童クラブ

※土曜日・長期休業期間は8時～18時

◎問い合わせ 児童館（☎62-4432）

母と子の健康 スケジュール

健康診査等	対象者	日時・受付時間
10か月児健診	令和7年10月～11月生	8月17日(月) 13時～13時10分
1歳6か月児健診	令和6年11月～令和7年1月生	8月24日(月) 13時～13時10分
2歳児歯科健診	令和6年4月～6月生	9月2日(水) 13時～13時10分
5歳児健診	令和3年7月～9月生	9月3日(木) 12時50分～13時
3か月児健診	令和8年4月24日～6月24日生	9月9日(水) 13時～13時10分
バンビ広場	0歳～未就学児	8月25日(火) 10時～

※乳幼児健診の際は、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』をお持ちください。当日体調がすぐれない方や、都合がつかない場合は、保健センターまでご連絡ください。

◎問い合わせ・会場 保健センター（☎62-2096）

暮らしの情報



nformation

いきいき大交流会 参加者募集

町では、「健康なまちづくり」の普及啓発活動として、高齢者の健康維持と交流を目的とした「いきいき大交流会」を開催します。

皆さまの参加をお待ちしております。

対象者 60歳以上の方
日時 10月7日(水)
9時受付開始

9時30分開会式
(正午終了予定)

会場 文化交流センター

申込期限 9月11日(金)

申込方法

該当する窓口へお申し込み

ください。

①老人クラブ会員の方

各地区の老人クラブへお申し込みください。

②老人クラブに加入していない方・老人クラブがない地区の方

参加者5名以上を募ったうえで、町民生活課までお申し込みください。

◎申し込み・問い合わせ

町民生活課 国保年金係

☎62-2116

詳細情報は
こちらから



相馬看護専門学校 学生を募集します

相馬看護専門学校では、令和9年4月入学の学生を募集します。

募集要項および受験願書は、同校で配布しています。

詳細は、お問い合わせいただくか同校ホームページをご確認ください。

修業年数 3年

詳細情報は
こちらから



Instagram



相馬看護専門学校
ホームページ

◎申し込み・問い合わせ
相馬看護専門学校総務係
☎37-8118

試験区分および試験日

試験区分	試験日
推薦入学試験（公募、特別）	10月8日(木)
一般入学試験（1期）	12月3日(木)
一般入学試験（2期）	令和9年1月21日(木)

募集人員 看護学科 40名
受験料 2万円

2026 観海フェス 開催！

『楽しい！』『おいしい！』『新しい！』子どもから大人まで楽しめる、夏の終わりの大イベント「観海フェス」を今年も開催します！ステージ発表や美味しいグルメ、夜は盆踊りで一緒に盛り上がりましょう！ご家族・ご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

■ 開催日時 8月22日(土) 10時～20時（9時30分～ ラジオ体操）※雨天決行・荒天時は翌日順延

■ 場所 観海堂公園（新地駅前広場）

■ おもなイベント内容

ステージ：音楽バンド、新地小学校よさこい、相馬チアリーダーズなど

出店：地元や近隣地域の美味しい屋台などが大集合！

お楽しみ企画：先着100名様プレゼント（10時からのセレモニー後）
アンケートに答えて参加できる「抽選会」

盆踊り（聖真会）：19時25分スタート！みんなで踊りましょう！

■ 詳しいタイムテーブルや出店一覧は、商工会青年部の Instagram にて発信しています。ぜひご確認ください！



商工会青年部
Instagram

◎お問い合わせ 商工会青年部（☎62-2442）

町長選挙および 議員補欠選挙

任期満了に伴う新地町
長選挙と、新地町議会議員
補欠選挙（欠員1名）を次
のとおり行います。

あなたの1票は、今後の
まちづくりを左右する大切
な1票です。忘れずに投票
しましょう。

告示日 8月25日(火)
投票日 8月30日(日)
投票時間 7時～18時

■投票できる方

次の要件をすべて満たす方
▽平成20年8月31日以前に
生まれた方
▽3か月以上新地町に居住
し、住民基本台帳に登録さ
れている方（令和8年5月
24日までに転入届を出して
いる方）

▽公民権停止中ではない方
※町外へ転出された方は投
票できません。

■投票所

投票所は、8月25日頃に
郵送する「投票所入場券」
に記載されていますので、
ご確認ください。

投票所にお越しの際は、
入場券を必ずお持ちくださ
い。
※入場券を紛失された場合
でも、選挙人名簿に登録
されていれば投票可能で
す。当日、投票所の係員
にお申し出ください。

■期日前投票

期間 8月26日(水)～29日(土)
時間 8時30分～20時
場所 役場1階 101会議室
選挙当日、次のいずれか
に該当すると見込まれる方
は、期日前投票ができます。



詳細情報
はこちらから
町ホームページ

・仕事や学業、冠婚葬祭等
の場合

・投票区域外に出かけたり、
滞在する場合

・病気、けが、出産等のた
め歩行が困難な場合

・天災または悪天候により、
投票所に到達することが困
難な場合

■不在者投票制度

仕事などで新地町以外の
市町村に滞在している方
や、県の指定した病院等に
入院・入所している方、身
体に重度の障がいがある方
は、不在者投票ができます。

▽滞在先での投票

仕事や旅行などで他の市
町村に滞在している方は、
滞在地の選挙管理委員会
投票できます。
事前に新地町選挙管理委

員会へ書類の請求が必要で
す。お早めにお問い合わせ
ください。

▽指定施設での投票

都道府県の選挙管理委員
会が指定した病院・施設
等に入院・入所している方
は、その施設内で投票でき
ます。詳しくは施設長へご
相談ください。

○身体に重度の障がいのあ る方

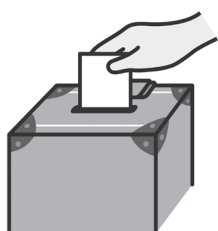
身体障害者手帳または戦
傷病者手帳をお持ちの方で
一定の要件に該当する方、
または介護保険被保険者証
を交付されている方で「要
介護5」の方は、郵便等
による不在者投票ができま
す。

投票に係る書類を請求す
る必要がありますので、8
月26日(水)までに新地町選
挙管理委員会へご連絡くださ
い。

○身体障害者手帳の場合
・両下肢、体幹、移動機能
の障がいの程度が1級また
は2級の方

・心臓、じん臓、呼吸器、
ぼうこう、直腸、小腸の障
がいの程度が1級または3
級の方

・免疫、肝臓の障がいの程
度が1級から3級までの方
※郵便等投票証明書をお持
ちの方は、有効期限をご
確認ください。期限が満
了する場合は、新地町選
挙管理委員会での新しい証
明書の交付を受けてくだ
さい。



◎問い合わせ

町選挙管理委員会
☎6212111

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら？

「北海道・三陸沖後発地震注意報」は、北海道から三陸沖で大きな地震が発生した後、さらに大きな地震が続いて発生する可能性が通常より高まった場合に発表される情報です。令和7年12月9日に初めて発表され、これまでに2度発表されています。いざという時に慌てないよう、改めて対応を確認しましょう。



北海道・三陸沖
後発地震注意情
報（内閣府HP）

情報が発表されたら？（発表から1週間）

地震への備えを再確認

すぐに避難できる態勢を整えましょう。

備蓄のチェック

水や食料は、慌てて買い出しに行くことがないように、普段から定期的に確認しておきましょう。

旅行や出張を予定している場合

情報発表中であっても、対象地域への旅行や出張を一律に中止する必要はありませんが、訪問先の交通状況や施設の営業状況を確認し、緊急情報を確実に取得できる態勢を確保したうえで、慎重な行動を心がけてください。

日頃からの地震の備えを忘れずに！

この情報が発表されても、巨大地震が必ず発生するというものではありませんが、平常時以上に巨大地震への注意が必要です。

いつ大きな地震が起きても対応できるよう、日頃からの備えを徹底しましょう。

地震時に迅速な避難が必要な場合

揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした場合に、直ちに津波から避難できる態勢の準備

すぐに避難できる態勢での就寝

- すぐに逃げられる服装で就寝
- 子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝
- 室内で最も安全かつ避難しやすい部屋の使用



非常持出品の常時携帯

- 準備しておいた非常持出品を日中は常時携帯、就寝時は枕元に置く
- 身分証明書や貴重品を常時携帯
- 防寒具等、積雪寒冷に備えた装備を手元に置く

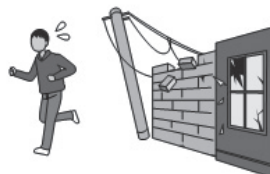


地震によるリスクの高い場所がある場合

想定されるリスクからの身の安全を確保する備え

揺れによる倒壊への備え

- 先発地震で損壊した建物や崩れやすいブロック塀等にはできるだけ近づかない



土砂災害等への注意

- 先発地震により、土砂崩れの危険性が高まっている場所にはできるだけ近づかない
- 崖崩れの恐れがある家では、崖に近い部屋での就寝を控える
- 地震発生後の津波からの避難が困難な地域に立ち入る際は、そのようなリスクのある区域であることを意識して、いつでも避難できるようにする



後発地震に注意し、誰もが実施すべき備え

緊急情報の取得体制の確保

- 携帯電話等の緊急情報を取得できる端末の音量を平時よりも上げておく
- ラジオや防災行政無線の受信機等を日頃生活する空間に配置



日頃からの備えの再確認

- 水や食料等の備蓄の再確認
- 避難場所・避難経路等の再確認
- 家族との連絡手段の再確認
- 家具の固定の再確認
- 自治会単位での訓練等での再確認等



◎問い合わせ 総務課 総務係 062-2111

9月の総合検診のお知らせ

特定健診・健康診査・がん検診を下記のとおり実施します。

今回は、社会保険加入の方を主な対象としていますが、国民健康保険や後期高齢者医療保険加入の方など6月対象だった方も受診できます。

日 程 9月6日(日)・7日(月)

受付時間 8時～10時45分

場 所 保健センター

受診時の持ち物

- ・総合検診受診票と総合検診問診票(事前にご記入ください)
- ・受診券(社会保険等の被扶養者で特定健診を受けられる方)
- ・マイナ保険証または資格確認書

詳細情報
はこちらから



乳がん検診のお知らせ

乳がん集団検診を下記のとおり実施します。受診を希望される方は、事前に保健センターまでご連絡ください。

対 象 者

- ・40歳以上で昨年受診しなかった方
- ・今年度施設検診を希望したが未受診の方

日 程 9月4日(金)、10月29日(木)、11月2日(月)

受付時間と定員 (各日)

受付時間	定員
9時～10時	25人
10時～11時	25人
13時～14時	30人

場 所 保健センター

検 診 方 法 マンモグラフィ検査

自己負担額 1,500円(70歳以上無料)

受診時の持ち物 乳がん検診受診票と問診票
(事前にご記入ください)

詳細情報
はこちらから



◎問い合わせ 保健センター(☎62-2096)

わくわくランドイベント情報

科学イベント開催

相馬高等学校 科学部 コラボ企画

体験しよう！ふしぎな科学

つまめる水を作ろう

水がつまめる？！
不思議な科学実験に挑戦！

アルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムを使うよ！

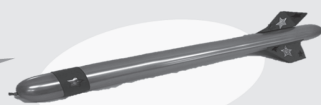


※写真はイメージです

所要時間
20分程度

よく飛ぶ！風船飛行機を作ろう

細長いバルーンを使って
飛行機をつくるよ！



※写真はイメージです

開 催 日

2026年8月23日(日)

※悪天候時にはイベントを中止する場合がございます

開催時間

- ①10:00～12:00(相馬高等学校科学部)
- ②13:30～15:30(わくわくランドスタッフ)

定 員

各回 先着30名 ※定員になり次第、受付終了

対 象

3歳以上 ※小学生以下は保護者同伴

申込方法

当日受付

場 所

エントランスホール / 多目的ホール

参加費
無料

わくわくランド公式
Instagramは
こちらから！



@WAKUWAKULAND_SHINCHI_PS

相馬共同火力発電株式会社 新地発電所内 わくわくランド
TEL: 0244-62-4722 <http://www.somakyoka.co.jp>
■電話受付・開館時間/10:00～16:00
■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日) 年末年始



【協力】
福島県立相馬高等学校 科学部

夏本番！ 火の取り扱いに注意

夏といえば、海や山でのレジャーの季節。バーベキューや花火など、火を使うことも少なくありません。火災事故を防ぐため、火を使う際は、次の点に注意して安全に楽しみましょう。

バーベキューの注意点

- ・消毒用アルコールを火起こしのために使用しない。火が付いた炭に吹きかけない。
- ・手指消毒後、すぐに火のそばに近寄らない。コンロのそばにアルコール容器を置かない。
- ・カセットコンロを複数並べて使用しない。

- ・使用した炭は、火消し壺を使用するか、水を入れた金属製のバケツの中で完全に消火する。

花火遊びの注意点

- ・花火に書いてある注意をよく読んでから遊ぶ。
- ・人ごみを避け、近くに燃えるものがない場所で行う。
- ・風が強い日は花火を控える。

- ・火のついた花火を人や家に向けない。
- ・バケツなどに消火用の水を用意しておく。
- ・子どもだけで花火を使用しない。

◎問い合わせ

総務課 総務係

☎62-2111



納税貯蓄組合加入者 募集

納税貯蓄組合は、地域や職場などを単位とした組織です。税の納期内納付の推進や、税知識の普及、納税意識の高揚を図る活動を行っています。

現在、町内には74の組合があり、新たな加入者を随時募集しています。加入を希望する方や新たに組合をつくりたい方は、お気軽にお問い合わせください。

なお、町税を納期内に完納した組合には、完納奨励金が交付されます。

◎問い合わせ

税務課 税務管理係

☎62-2119

働きたいネットから のお知らせ

就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】開催！
参加無料・予約不要！
ハローワーク相馬に求職者カフェがやってきます。就職活動に役立つ支援が受けられます。ご来場の方には「履歴書&封筒セット」プレゼント！初めての方もお気軽にお越しください。

日時 9月15日(火)9時～12時
場所 ハローワーク相馬 2階会議室
支援メニュー
・証明写真撮影（撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ！貸出用ジャケットあり）
・応募書類作成
・適職診断 など

「社会人基礎力セミナー」
就職活動や職場で役立つコミュニケーション力を身につけましょう！
自分を見つめ直し、なりたい自分へ一歩近づくためのセミナーです。信頼関係を築くポイントを学び、採用面接や実際の仕事に活かしましょう。

講師 鈴木 修子 先生
会場 ハローワーク相馬
日時 8月21日(金)
13時～15時(予定)
定員 6名(先着順)
※受講料・テキスト代は無料です。

※詳細は、お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

◎問い合わせ
福島広域雇用促進支援協議会
☎024-524-2121

詳細情報は
こちらから



ホームページ
はこちらから



全国瞬時警報システム（Jアラート） 全国一斉情報伝達訓練のお知らせ

総務省消防庁では、Jアラートの動作を確認するため、全国一斉の情報伝達訓練を実施します。

町でも訓練当日は、町内各所の防災行政無線（屋外スピーカー）や各家庭の個別受信機から、テスト放送のチャイムと音声メッセージが流れます。

実際の災害とお間違えのないようご注意ください。

訓練実施日時

8月26日(水)午前11時頃

◎問い合わせ
総務課 総務係
(☎62-2111)

誕生おめでとう

(令和8年6月21日～令和8年7月20日届出)

(子ども) (親) (地 区)
ま ひ ろ 万 尋 加藤 健太郎・利奈 下真弓
(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

【お詫びと訂正】

広報しんち令和8年7月5日号に掲載しました「釣師
防災緑地公園特集」の記事におきまして、主催者名お
よび事実関係に誤りがございました。

(誤) 昨年 2 月には町主催の防災教室が開催され～

(正) 2 月 17 日には、一般社団法人東北お遍路プロジェ
クト主催(町教育委員会後援)の防災教室が開催され～

訂正するとともに、関係者の皆さまならびに読者の皆さま
にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

おくやみ申し上げます

(令和8年6月21日～令和8年7月20日届出)

(名前) (年齢) (地区)
渡辺 真一 85歳 今 泉
荒井 信雄 93歳 大山田
鈴木 岳夫 61歳 新地町
黒沢 祥一 83歳 中 島
清野 多喜子 99歳 中 里(特老)
(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

6 月分 ごみ収集量

町で収集している可燃ごみ・不燃ごみ・
資源ごみの収集量をお知らせします。

(単位: kg)

種別		当月収集量	前月との差
可燃ごみ		141,130	+ 17,950
不燃ごみ		4,930	－ 1,760
資 源 ご み	ビン	2,910	－ 4,450
	カン	1,320	－ 240
	ペットボトル	1,880	－ 410
	容器包装	2,650	－ 370
	新聞	2,630	－ 170
	雑誌	1,190	－ 350
ダンボール		2,750	+ 660

〈日本の食品ロス、約半分は「家庭」から!〉

実は、日本の食品ロスの約半分は家庭から発生
しています。

主な要因は、作りすぎによる「食べ残し」、食べ
られる部分まで捨てる「過剰除去」、手つかずの
まま捨てる「直接廃棄」の3つです。

ロスを減らすコツは、買い物で「必要な分だけ
買う」、料理で「食べきれる量を作る」、食事で「お
いしく食べきる」ことが基本です。

毎日の少しの工夫が、大きな削減につながりま
す。今日からエコな暮らしを始めてみませんか?

◎問い合わせ 町民生活課 生活環境係
(☎62-2116)

今月の 納付

- ①町県民税 第 2 期
- ②国民健康保険税 第 2 期
- ③介護保険料 第 2 期
- ④後期高齢者医療保険料 第 1 期

8 月 31 日(月)

納付または引落口座の確認をお願いします。

◎問い合わせ

- ①②税務課 (電話: 62-2119)
- ③保健福祉課 (電話: 62-2931)
- ④町民生活課 (電話: 62-2116)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 / 7,242 人 (－9)
男 / 3,600 人 (－4)
女 / 3,642 人 (－5)
世帯数 / 2,768 世帯 (+4)
7月1日現在 () は前月比

新地町

健康ウォーク

Shinchi Town
Health Walk

海や里の景色を眺め、
町の美味しいものを味わったり、
新地町をたのしむウォーキングです！

開催日 令和8年

10月31日(土)

申込開始 8月5日(水)～

※定員になり次第締め切ります

集合場所／スタート・ゴール地点
新地町文化交流センター

〒979-2709 福島県相馬郡新地町駅前1丁目3

9:00 スタート

※荒天時は中止

スケジュール
8:00 受付
8:45 開会式・準備運動
9:00 スタート
13:00 終了予定

どなたでも参加できます！

ただし、小学生以下は保護者同伴となります。

コース

① 5kmコース

② 11kmコース

参加料

高校生以上 1,000円 ※当日現金にて領収

小・中学生 500円

未就学児 無料

定員

120名

(申込先着順)

詳細情報(町HP)



参加者全員に
記念品を
プレゼント

申込方法

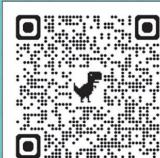
事前申し込みとなります。定員になり次第締め切らせていただきます。

方法(1) 専用フォームより申し込む

参加申込用二次元コードよりお申し込みください。

方法(2) 申込書に記入し提出

申込書は新地公民館に設置しております。



WEB申し込み方法について
二次元コードを読み取り、
専用フォームから
お申し込みください

主催 新地町教育委員会、新地町スポーツ推進委員／共催 新地町／協力 新地町観光協会／後援 福島民報社、福島民友新聞社

■お問合せ 新地町教育総務課 生涯学習係(新地公民館) TEL 0244-62-2085

発行と編集 新地町役場企画政策課

☎ 0244-62-2112 FAX 0244-62-3194 Eメール info@town.shinchi.lg.jp

〒979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田30番地



町公式LINE



町公式HP